

出演=河合良平

夏目美和子

西村麻生

宮階真紀

広田ゆうみ

下鴨車窓#9
文化庁 平成23年度優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業
京都芸術センター制作支援事業

小町風伝

作=太田省吾
(1977年初演)
構成・演出=田辺剛

2012年 伊丹
1月20日(金)-22日(日)
AI・HALL アイホール

地域を結ぶ「みんなの劇場」創造事業
現代演劇プロジェクト

主催：公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市、NPO法人劇研、下鴨車窓
助成：財団法人アサヒビル芸術文化財団





見失う、聞き逃す、行き違う

劇場のあらゆる場所を巡りながら観劇する、展覧式『小町風伝』

劇作家・演出家の田辺剛が主宰する演劇ユニット「下鴨車窓」は、2007年に亡くなられた太田省吾氏の代表作『小町風伝』をアイホールにて上演します。氏が37歳のとき(1977年)に初演された本作は「演劇界の芥川賞」とも言われる岸田國土戯曲賞を受賞した作品です。主人公の老婆は終始「沈黙」のままで演じられ、当時注目を集めました。

今回の上演では、アイホールのホール内だけではなく、建物内の1階から3階までに複数の“上演スポット”を設けます。来場者には美術展を見るようにご観劇していただきます。また受付では携帯型音楽プレーヤーを貸し出します。そこには発せられることのない

老婆の内なる声が記録されており(老婆は舞台では沈黙でありながらその上演台本は実に豊穡な台詞で溢れているのです)、上演スポットで指定された音声聞くことで、その場所の裏側に響く声聞くことができます。出演者のパフォーマンスを見ながらその音声聞く、あるいは無人であっても音声を再生して見る。そうすることで普段わたしたちが当然のように使っていることばや声について、改めてその所在を問おうとする試みを鑑賞していただきます。

上演台本には20人近くの登場人物が指定されていますが、今回の上演では老婆だけが登場します。来場者は建物内を徘徊する老婆の姿を見失うかもしれません。

また、パフォーマンスに合わせて声を聞こうとしてタイミングがずれることもあるでしょう。それ以前に、上演スポットに老婆はなかなか現れず、来場者は無人の空間をただ見つめるだけになるかもしれません。いつもの観劇では舞台上で起こることに観客は集中し、それを「見失う、聞き逃す、行き違う」ことは許されていません。しかしなにかを仕損なったときに、その損なわれた経験の裂け目にはなにがあるのか。今回の上演ではそうした損なわれた経験を肯定し、そこからおそらく太田氏自身も考えなかった『小町風伝』の劇世界を立ち上げます。

皆様のご来場をお待ちしています。

[出演] 河合良平、夏目美和子、西村麻生、宮階真紀、広田ゆうみ

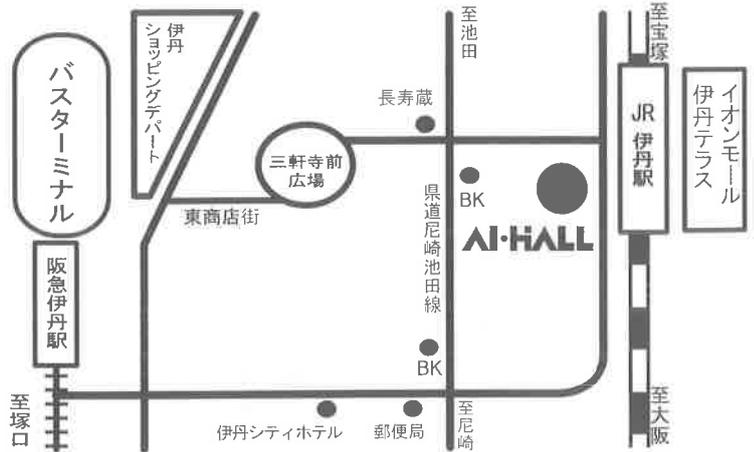
[会場] アイホール(電話=072-782-2000)

[日時] 2012年

1月20日(金)18:30-21:30
21日(土)14:00-17:00、18:30-21:30
22日(日)14:00-17:00

ご観劇に際して

- ・本公演は「展覧式」で上演いたします。固定席はございません。
- ・観劇の目安は一時間余りです。
- ・上演時間内はいつでも入退場出来ますが、入場のみ終演時間の30分前に締め切ります。
- ・受付開始は開演の20分前、開場は10分前です。
- ・作品鑑賞のための音声を録音した携帯型音楽プレーヤーを貸与いたします(数量に限りがございますのでお持ちいただく可能性がございます)。また、お客様がお持ちのiPodやMP3プレーヤー、スマートフォン等の端末でもお聞きいただける音声データのダウンロードサービスを、下鴨車窓Webサイト(<http://blog.tana2yo.under.jp/>)にて御用意いたします(1月中旬予定)。
- ・終演後にシアタートークを予定しています。ゲストや日程は決まり次第、下鴨車窓やアイホールのウェブサイトでお知らせします。



[チケット料金] (前売、当日とも同料金)
一般=2,000円/ペアチケット=3,600円
学生、ユース(25歳以下)、k-bgk(NPO法人京都舞台芸術協会)会員=1,500円
※学生やユースの方は身分や年齢を確認できる証明書などの提示が必要です。
※ペアチケットは入場券を二枚一組で販売します。

[チケット取扱い・問い合わせ]
○アトリエ劇研 Tel: 075-791-1966 メール: shimogamo@gekken.net
○アイホール (チケット予約のみ) Tel: 072-782-2000
※チケットご予約の際はお名前・人数・ご連絡先とご来場予定の時刻をお知らせください。

[構成・演出] 田辺剛

劇作家、演出家。劇場「アトリエ劇研」ディレクター。現在は京都市に在籍し創作活動を続けている。2005年に『その赤い点は血だ』で第11回劇作家協会新人戯曲賞を受賞。2006年秋より文化庁新進芸術家海外留学制度で韓国・ソウル市に1年間滞在し劇作家として研修する。2007年に『旅行書』で第14回OMS戯曲賞佳作を受賞。日本劇作家協会会員。同協会京都支部事務局担当。NPO法人京都舞台芸術協会理事。近畿大学文芸学部非常勤講師。



[舞台監督・舞台美術] 西田聖宏 [照明] 魚森理恵 [音響] 小早川保隆 [衣裳] 南野詩恵 [制作補] 川那辺香乃
☆=GEKKEN staff room

下鴨車窓

〒606-0856 京都市左京区下鴨塚本町1アトリエ劇研内
電話=075-791-1966/メール=shimogamo@gekken.net

下鴨車窓

検索

インターネットの検索エンジンで「下鴨車窓」をご検索ください。田辺のブログ「no size」で詳しい公演情報をお知らせしています。